



思考を広げ，学び合いを深める教師の手立て (改)

	求める児童・生徒の姿	教師の姿
つかむ	<p>1 学習課題を把握する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を把握し，考えようとする意欲をもつ ・今日の学習の見通しをもつ 	<p>1 課題提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ねらいに迫る適切な課題設定を行う ◆知的好奇心をゆさぶる課題提示の仕方を工夫する <ul style="list-style-type: none"> ・生活や体験と関連付けた課題設定 ・「考えたい」「取り組みたい」という意欲が高まる提示の工夫 ・「えっ?」「本当に?」と疑問をもたせるような課題の工夫
考える・深める	<p>2 自分の考えをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習や体験をもとに自分の考えをもつ ・考えを表現する <p>3 自分の考えを伝え，友だちの考えを聴いて深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを伝える ・自分の考えと比較しながら友だちの考えを聴く ・根拠を明確にして話す ・友だちの考えを生かして自己の学びを深める ・新たな課題に気づく 	<p>2 自分の考えをもつ場の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆自分でしっかりと考える時間を確保する ◆考える視点を明確に示す ◆考えをもてない児童・生徒への手立てを準備する ◆自分の考えを表現する活動を取り入れる（キーワード・言葉・図・絵・式・表・グラフ…など教科の特質を生かして） ◆個々の考えを把握する <p>3 思考を広げ・深める学び合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆意図的に指名する ◆一人一人の考えを<u>しっかり把握し</u>価値付ける ◆考えさせる視点（山場）を明確にする ◆活動の目的に応じて有効な学習形態（ペア・グループ・一斉）を活用する ◆発表の羅列にならないように発言をつなぎ<u>深めるための</u>コーディネートをする（比較・焦点化・根拠の明確化・類推…） ◆思考を深める問い返しや思考をゆさぶるしかけを工夫する（誤答提示・一般化・多面化…） ◆話し方・聴き方を系統的に育てる ◆個に戻って思考の変容を自覚させる
まとめる	<p>4 まとめる・振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の言葉でまとめる ・今日学んだことがわかる ・「できた」ことを実感する ・新たな課題に気付く 	<p>4 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ねらい達成に必要な言葉を引き出してまとめる ◆「できた」「分かった」と児童・生徒が実感できるまとめをする ◆ねらいが達成できたか評価する ◆学習による児童・生徒の変容を把握する ◆新たな課題への意欲につなげる工夫をする

年 組 授業参観シート

月 日 授業者 () 教科 ()
 本時のねらい ()

段階	改善の視点	重点	教師の手立て	◎○△
つかむ	課題提示の工夫		ねらいに迫る適切な課題設定を行っている	
			知的好奇心をゆさぶる課題提示の仕方を工夫している	
考える・深める	思考する場の設定		自分でしっかりと考える時間を確保している	
			自分の考えを表現する活動（キーワード・文・図・絵・式・表・グラフ…）を取り入れている	
			<u>一人一人の思考を見取り，把握している</u>	
	思考を深める場の設定		発言を羅列させず，思考をつなぎ <u>深めるための</u> コーディネートをしている	
			思考を深める <u>問い返し</u> や思考をゆさぶる発問を工夫している	
			個に返り友達の考えによって変容した自分の考えを自覚させる時間を確保している	
まとめる	ねらいの達成		ねらい達成に必要な言葉を用いてまとめている	
			<u>本時のねらいが達成できている</u>	
			新たな課題への意欲につなげる工夫をしている	

学び合いを深めるためには、児童・生徒が個人思考をする時間を確保し、個々の思考をつないで広げていくための「教師のコーディネート力」が重要です。

本紙の1面「学び合いを深める教師の手立て」を参考に、それぞれの学校で内容を吟味して共通実践することが必要です。

また、授業を見合う時や自分の授業を振り返る手立てとして、上記の「授業参観シート」を参考に、学校独自の視点を明確にして、学校ぐるみで授業改善を図っていただきたいと思います。

